

●表紙説明

釜子陣屋があったころの村の絵地図です。

釜子地方は今から240年前の江戸時代の中ごろから明治のはじめまで、やく130年間、えちご（にいがた県）の高田藩が治めていました。釜子陣屋は、江戸時代の終わりのころ浅川より移されましたが、60年間奉行によって政治の行われたところです。陣屋はぼしんの役でやけ、そのすがたをけしました。

絵の中心が釜子宿で、本町通りは中央に川が流れ、商店やはたごやが軒をならべ、ひたち太田かいどうには、たくさんの人や馬がいききしていたのです。

釜子陣屋には、お陣屋、おくら、ろうやなどが見られますが、今は本町下に陣屋あとがあるだけです。東西に流れるのが矢武川、その北にある家のあるところが北町です。その間が田町たんぼといって今の役場前通りです。また、うす久保の大池をって白川道が見えますが、そのころ白河に通じる大切な道路でした。

（釜子陣屋絵地図 本町山口和臣氏所蔵）